

第1編 衆議院議員総選挙及び
最高裁判所裁判官国民審査

第1章 衆議院議員総選挙

1 選挙長及び同職務代理者

選挙区	選挙長		選挙長に事故があるとき、又は選挙長が欠けたとき、その職務を代理すべき者	
	住所	氏名	住所	氏名
第1区	北九州市小倉北区青葉2丁目11番5号	宮崎 時春	福岡市西区西新6丁目5番12号200-205	井上 昭和
第2区	福岡市博多区博多駅前1丁目19番3-702号	野上 武彦	北九州市八幡西区大字楠橋1257番地	藤津 巖剛
第3区	三井郡大刀洗町大字本郷2619	平田 糸次郎	三井郡北野町字金島321番地	橋本 義満
第4区	福岡市中央区輝国2丁目12-12 輝国住宅155号	衣笠 哲生	北九州市小倉北区上高野3丁目18番33号	古賀 一郎

2 立候補者に関する調

第1区

届出順位	届出年月日	届出の別	候補者						
			氏名	性別	本籍	住所	生年月日	所属党派	職業
1	昭和51年11月15日	本人	田中 昭二	男	福岡県八女市大字本町186番地の1	福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目15の18	昭和2年1月6日(満49才)	公明党	公明党福岡県本部副本部長
2	昭和51年11月15日	本人	かわの 正正 (本名 河野 正)	男	福岡県粕屋郡篠栗町大字尾仲139番地	福岡県粕屋郡篠栗町大字尾仲139番地	大正3年1月1日(満62才)	日本社会党	病院長
3	昭和51年11月15日	本人	井原 忠良	男	福岡県糸島郡志摩町大字松隈138番地	福岡県福岡市東区香住ヶ丘4丁目16番13号	昭和6年12月5日(満45才)	無所属	政治研究所長
4	昭和51年11月15日	本人	有田 誠	男	福岡県糸島郡前原町大字有田471番地	福岡県福岡市西区城西団地3番22号	昭和6年1月9日(満45才)	民社党	団体役員
5	昭和51年11月15日	本人	なら崎 弥之助 (本名 橋崎 弥之祐)	男	福岡県福岡市博多区中興服町79番地の2	福岡県福岡市東区大字名島内堀町2438	大正9年4月11日(満56才)	日本社会党	衆議院議員
6	昭和51年11月15日	本人	山崎 拓	男	福岡県福岡市西区西新町2063番地	福岡県福岡市南区高宮3丁目22街区3号	昭和10年12月11日(満39才)	自由民主党	衆議院議員
7	昭和51年11月15日	本人	いさ山 博博 (本名 諫山 博)	男	福岡県福岡市中央区大名2丁目251番地	福岡県福岡市中央区大名2丁目10番20号	大正10年12月5日(満55才)	日本共産党	弁護士
8	昭和51年11月15日	本人	辻 英雄	男	福岡県福岡市西区藤崎1丁目103番地	福岡県福岡市南区長住2丁目18番21号	大正8年7月8日(満57才)	自由民主党	辻経済労働研究会理事長
9	昭和51年11月15日	本人	しのぎきためはちろう (本名 篠崎 為八郎)	男	福岡県福岡市西区西新6丁目800番地の147	福岡県福岡市西区西新6丁目10の26	昭和19年5月28日(満32才)	無所属	丸三建設代表
10	昭和51年11月15日	本人	森田 欽二	男	福岡県甘木市大字千手600番地	福岡県甘木市大字千手600番地	大正6年12月11日(満58才)	自由民主党	団体役員
11	昭和51年11月15日	本人	福田 敏南	男	福岡県築上郡吉富町大字直江498番地	福岡県福岡市中央区大濠1丁目13-6	大正9年5月30日(満56才)	無所属	東和大学学長

第 2 区

届出 順位	届 出 年 月 日	届出 の別	候 補 者						
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	所属党派	職 業
1	昭和51年 11月15日	本 人	上村正敏 (本名 中村哲郎)	男	福岡県大牟田 市大正町1丁 目2番地の13	福岡県北九州 市八幡西区菅 原町1の45	昭和23年 1月20日 (満28才)	日本労働党	政党役員
2	昭和51年 11月15日	本 人	松本七郎	男	福岡県北九州 市戸畑区一枝 1丁目63番地	福岡県北九州 市戸畑区夜宮 1丁目1番15号	明治44年 11月15日 (満65才)	日本社会党	団体役員
3	昭和51年 11月15日	本 人	まつ ぶじ (本名 松藤 淳)	男	東京都渋谷区 恵比寿3丁目 55番地	福岡県飯塚市 大字下三緒 171番地の24	大正15年 3月17日 (満50才)	自由民主党	団体役員
4	昭和51年 11月15日	本 人	三原朝雄	男	福岡県遠賀郡 遠賀町大字鬼 津3605番地	福岡県遠賀郡 遠賀町廣渡 1819番地	明治42年 8月20日 (満67才)	自由民主党	衆議院議員
5	昭和51年 11月15日	本 人	たがや 真稔 (本名多賀谷真稔)	男	広島県呉市広 町16705番地	福岡県嘉穂郡 穂波町大字枝 国666番地	大正9年 1月5日 (満56才)	日本社会党	衆議院議員
6	昭和51年 11月15日	本 人	田代文久	男	福岡県直方市 大定上新入 2107番地	福岡県直方市 植木町 251番 地	明治33年 12月5日 (満76才)	日本共産党	衆議院議員
7	昭和51年 11月15日	本 人	宮田早苗	男	福岡県北九州 市八幡東区祝 町2丁目1235 番地	福岡県北九州 市八幡西区别 当町10の11	大正8年 6月12日 (満57才)	民 社 党	衆議院議員
8	昭和51年 11月15日	本 人	大橋敏雄	男	福岡県福岡市 西区西新4丁 目 299番地	福岡県北九州 市八幡西区萩 原1丁目11番 地24号	大正10年 11月3日 (満51才)	公 明 党	衆議院議員

19

第 3 区

届出 順位	届 出 年 月 日	届出 の別	候 補 者						
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	所属党派	職 業
1	昭和51年 11月15日	本 人	なら橋 進 (本名 橋崎 進)	男	東京都渋谷区 恵比寿3丁目 83番地	福岡県久留米 市通町 315番 地	昭和9年 6月3日 (満42才)	自由民主党	衆議院議員
2	昭和51年 11月15日	本 人	山崎 平八郎	男	福岡県大川市 大字新田 819 番地	東京都文京区 小日向1丁目 3の6	明治44年 12月16日 (満64才)	自由民主党	衆議院議員
3	昭和51年 11月15日	本 人	ごんどう 恒夫 (本名 権藤恒夫)	男	福岡県粕屋郡 須恵町大字植 木 349番地	福岡県久留米 市高内内町32 90番地の26	昭和5年 3月23日 (満46才)	公 明 党	党中央委員
4	昭和51年 11月15日	本 人	ほそや 治嘉 (本名 細谷治嘉)	男	福岡県大牟田 市大字吉野 680番地の1	福岡県大牟田 市大字吉野 680番地の1	大正1年 9月21日 (満64才)	日本社会党	衆議院議員
5	昭和51年 11月15日	本 人	松石 秀介	男	福岡県八女市 大字光 158番 地	福岡県大牟田 市大字今山11 84番地の23	昭和3年 9月21日 (満48才)	日本共産党	医 師
6	昭和51年 11月15日	本 人	稲 富 稜 人	男	福岡県八女郡 広川町大字川 上29番地	福岡県浮羽郡 吉井町大字清 瀬 573番地	明治35年 10月19日 (満74才)	民 社 党	衆議院議員

25

第 4 区

届出 順位	届 出 年 月 日	届出 の別	候 補 者						
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	所属党派	職 業
1	昭和51年 11月15日	本 人	尾 形 ちえのり (本名 尾形智矩)	男	福岡県京都郡 苅田町大字南 原 993番地	福岡県京都郡 苅田町大字南 原 993番地	昭和11年 8月10日 (満40才)	無 所 属	全国商工会 連合会中央 講師
2	昭和51年 11月15日	本 人	くら内 修 治 (本名 藏内修治)	男	福岡県築上郡 築城町大字上 深野 396番地	福岡県北九州 市小倉北区上 富野2丁目3の4	大正7年 3月8日 (満58才)	自由民主党	社団法人日 本国民年金 協会理事
3	昭和51年 11月15日	本 人	池 田 禎 治	男	福岡県田川郡 香春町大字香 春 333番地	福岡県北九州 市小倉北区本 町1丁目4番 8号204	明治43年 1月22日 (満66才)	民 社 党	衆議院議員
4	昭和51年 11月15日	本 人	か じ 清 治 (本名 鍛治 清)	男	福岡県北九州 市小倉北区昭 和町99番地	福岡県北九州 市小倉区北黒 住町24番34号	昭和3年 2月18日 (満48才)	公 明 党	団 体 役 員
5	昭和51年 11月15日	本 人	田 中 六 助	男	福岡県田川郡 赤池町大字赤 池 268番地	福岡県田川郡 赤池町大字赤 池 268番地	大正12年 1月23日 (満53才)	自由民主党	衆議院議員
6	昭和51年 11月15日	本 人	三 浦 久	男	東京都目黒区 大岡山1丁目 122番地	福岡県北九州 市小倉南区若 園南町3-32-13	昭和6年 1月1日 (満45才)	日本共産党	衆議院議員
7	昭和51年 11月15日	本 人	中 西 せき介 (本名 中西績介)	男	福岡県田川郡 香春町大字採 銅所3283番地	福岡県田川郡 香春町大字採 銅所3283番地	大正15年 2月6日 (満50才)	日本社会党	団 体 役 員

12

3 当選人に関する調

第 1 区

当 選 年 月 日	当選告示 年 月 日	当選証書 附 年 月 日	得 票 数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	106,384	田 中 昭 二	福岡市博多区博多駅 前3丁目15の18	公明党福岡 県本部副本 部長	昭和2年 1月6日 (満49才)
昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	104,050	辻 英 雄	福岡市南区長住2丁 目18番21号	辻経済労働 研究会理事 長	大正8年 7月8日 (満57才)
昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	101,993	なら崎 弥之助	福岡市東区大字名島 内堀町2438	衆議院議員	大正9年 4月11日 (満56才)
昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	94,298	山 崎 拓	福岡市南区高宮3丁 目22街区3号	衆議院議員	昭和11年 12月11日 (満39才)
昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	昭和51年 12月8日	90,642	森 田 欽 二	福岡県甘木市大字千 手600番地	団 体 役 員	大正6年 12月11日 (満58才)

第 2 区

当 選 年 月 日	当選告示 年 月 日	当選証書 附 年 月 日	得 票 数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	98,224	宮 田 早 苗	北九州市八幡西区别 当町10の11	衆議院議員	大正 8年 6月12日 (満57才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	87,219	大 橋 敏 雄	北九州市八幡西区萩 原 1丁目11番24号	衆議院議員	大正14年 11月 3日 (満51才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	83,941	松 本 七 郎	北九州市戸畑区夜宮 1丁目 1番15号	団 体 役 員	明治44年 11月15日 (満65才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	82,785	三 原 朝 雄	福岡県遠賀郡遠賀町 廣渡1819番地	衆議院議員	明治42年 8月20日 (満67才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	76,597	たがや 真 稔	福岡県嘉穂郡穂波町 大字枝国 666番地	衆議院議員	大正 9年 1月 5日 (満56才)

第 3 区

当 選 年 月 日	当選告示 年 月 日	当選証書 附 年 月 日	得 票 数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	87,141	山 崎 平八郎	東京都文京区小日向 1丁目3の6	衆議院議員	明治44年 12月16日 (満64才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	77,353	ほそや 治 嘉	福岡県大牟田市大字 吉野 680番地の1	衆議院議員	大正 1年 9月21日 (満64才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	75,769	ごんどう 恒夫	福岡県久留米市高良 内町3290番地の26	党中央委員	昭和 5年 3月23日 (満46才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	74,845	なら橋 進	福岡県久留米市通町 315番地	衆議院議員	昭和 9年 6月 3日 (満42才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	74,791	稲 富 稜 人	福岡県浮羽郡吉井町 大字清瀬 573番地	衆議院議員	明治35年 10月19日 (満74才)

第 4 区

当 選 年 月 日	当選告示 年 月 日	当選証書 附 年 月 日	得 票 数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	80,541	くら内 修 治	北九州市小倉北区上 富野2丁目3番4号	社団法人日 本国民年金 協会理事	大正 7年 3月 8日 (満58才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	79,488	中 西 せき介	福岡県田川郡香春町 大字採銅所3283番地	団 体 役 員	大正15年 2月 6日 (満50才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	76,439	か じ 清	北九州市小倉北区黒 住町24番34号	団 体 役 員	昭和 3年 2月18日 (満48才)
昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	昭和51年 12月 8日	69,525	田 中 六 助	福岡県田川郡赤池町 大字赤池 268番地	衆議院議員	大正12年 1月23日 (満53才)

昭和51年12月5日執行

衆議院議員総選挙

(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
民社党公認
有田 誠

あり

た

まこと

(15才)

正直者が報いられる社会をつくろう

今日ほど新しい政治が求められているときはありません。ロッキード事件は、長い間政権を担当してきた自民党の、腐れきつた金権政治の正体を暴露したものです。

私は、国民を忘れた党利党略・派閥の政治を打ち破り、正直者が力を見る自民党政治と訣別し、政治を国民の手に取り戻すために全力を尽します。一方、共産党が持つ全体主義の努力を排除して、自由で公平な社会を築く政治の実現をめざします。

私の経歴

生まれ 昭和六年一月九日生れ
現住所 福岡市西区城西団地二二二二
字 歴 須山小学校、当仁小学校、修猷館、学習院大学文学部政治科を経て中央大学法学部政治科卒業
政治歴 民社党福岡支部長、一区連委員長、県連書記長を歴任。
昭和四十二年(36才) 福岡県議会議員選挙に不出馬、当選。
昭和四十六年(40才) 福岡県議会議員に再度当選。この間県選管理事を歴任。警察常任委員会に連任八年所屬。うち六年間連任委員長。
外 訪 タイ、ラオス、アメリカ、韓国、ヨーロッパ、東南アジア、中国。

私の政策

- 一、入試制度を改善し、高校義務教育化など教育制度を改め、日本人の心を育てる教育をすすめます。
- 二、兆円減税、公共料金の抑制で物価安定、景気を回復し、生活を守ります。
- 三、雇用不安を解消し、中小企業と農林漁業を守ります。
- 四、国民無視の違法ストをやめさせ公共企業の経営をただします。
- 五、母性が保護される制度や、老人が生きがいを持つべき制度をつくりまします。
- 六、難病や身体障害者のために治療法の研究や生活の保障を確立します。
- 七、国内強豪の経済をあらため、社会的不正を是正します。
- 八、すべての腐敗、独裁勢力に反対し、自由と民主主義を守ります。
- 九、あらゆる国と友好を深め、経済の安全を保障する外交をすすめます。



衆議院議員候補者
公明党公認
田中 昭二

た
なか
しろう
じ

(49才)

政治は国民の手に

政治はだれのために
物価高と公害
重税と住宅難
派閥と利害
そして腐敗

国民を忘れた政治はもうたくさん

いまこそ流れを変えよう

国民一人ひとりを大切に
清潔・公平・自由の政治へ
それは手の届くところにある
希望や夢ではなく

私はねばり強く
さらに戦い続けます
みなさまの心からのご支援を
お願いいたします

経歴

福岡市居住 大蔵事務官・税理士
衆議院三回当選 元大蔵委員・運輸理事
理選信員
空席副本部長、通信部全部長
太宰府連任保持特別委員長

私の公約

くらしと物価
私は 物価を安定させ、サラリーマン等の不公平な規制を改め、国民生活優先の経済体制を確立します。

生きていると福祉
私は お年寄り、身障者、母子家庭などの生活を守るため、年金や医療制度等を抜本的に改善し、生きがいのある福祉社会をつくりまします。

教育
私は 受験地獄で歪められた教育をただし、幼児から老人まですべての人に教育の機会均等を確保します。また公立高校の増設、私学助成の大幅増額をおこないます。

住まいと環境
私は 公営住宅の建設、持家助成強化などでゆとりある 住まいづくりを推進し、公害を防ぎいのちと自然環境を守ります。

中小企業
私は 中小企業を倒産の危機と、大企業の圧迫から守り、経営の安定をはかるため中小企業庁の設置、資金融資の拡充、税負担の軽減をはかりまします。

地方自治権の確立
私は 地方財政の中心を住民福祉の充実に置き、中央集権的な行政制度を改善して地方分権を強化し地方自治権を確立します。

平和・外交
私は 平和・人権・民主主義の三原則を将来ともに守り、等距離外交を中立交渉で、恒久平和実現に努力します。

昭和31年12月5日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補
福岡県第一区

福田敏南

(56才)

新しい時代の創造

世帯も、職の時代を迎えています。新しい時代の創造は、この時代、中産階級が活躍し、経済の発展が促されていくべきです。中産階級の発展は、経済の発展を促し、社会の安定をもたらします。中産階級の発展は、経済の発展を促し、社会の安定をもたらします。中産階級の発展は、経済の発展を促し、社会の安定をもたらします。

中小企業零細企業の振興

高度成長の時代には、政治界の権力と競争を求めている経済界の力が、資本力と力を出して知られていきました。しかし、高度成長の時代には、中小企業零細企業の振興が、経済の発展を促し、社会の安定をもたらします。中小企業零細企業の振興は、経済の発展を促し、社会の安定をもたらします。

九州経済の浮揚と物価の安定

日本経済の発展は、九州経済の浮揚と物価の安定を促しています。九州経済の浮揚は、日本経済の発展を促し、物価の安定をもたらします。九州経済の浮揚は、日本経済の発展を促し、物価の安定をもたらします。九州経済の浮揚は、日本経済の発展を促し、物価の安定をもたらします。

教育の中心の確立を

高度成長の時代には、教育の中心の確立を促しています。教育の中心の確立は、高度成長の時代には、教育の中心の確立を促し、社会の安定をもたらします。教育の中心の確立は、高度成長の時代には、教育の中心の確立を促し、社会の安定をもたらします。

生業甲斐のある社会を

生業甲斐のある社会を、高度成長の時代には、生業甲斐のある社会を促しています。生業甲斐のある社会は、高度成長の時代には、生業甲斐のある社会を促し、社会の安定をもたらします。生業甲斐のある社会は、高度成長の時代には、生業甲斐のある社会を促し、社会の安定をもたらします。

政治に対する信頼の回復

政治に対する信頼の回復を促しています。政治に対する信頼の回復は、政治に対する信頼の回復を促し、社会の安定をもたらします。政治に対する信頼の回復は、政治に対する信頼の回復を促し、社会の安定をもたらします。政治に対する信頼の回復は、政治に対する信頼の回復を促し、社会の安定をもたらします。

私の経歴

福田敏南の経歴は、福岡県第一区で、政治界の権力と競争を求めている経済界の力が、資本力と力を出して知られていきました。福田敏南の経歴は、福岡県第一区で、政治界の権力と競争を求めている経済界の力が、資本力と力を出して知られていきました。

一票に示せ世論の底力

投票日

12月5日



福岡県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

衆議院議員総選挙

(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



新人

しのざき ためはちろう

無所属

(32才)

年長者や政治家が世間のあかに汚れているならば、若者がしっかりしなければこの日本はどうなる。

金や権力、美辞麗句に惑わされず、腐敗墮落した我国の政治を浄化する為に今こそ私達若者が立ち上がり、国家百年の磐石の基礎を確立することが、この時代に生を受けた者の使命であり責任であると信ずる。

私も若者の一人だが、今日の我国に必要なのは、ただ単に若いだけでなく、たとえ未完成な姿でも時の重大さを知り、正しかるべきを正す、力いっぱい国家の為にやろう、尽そう、といった主体性を認識した人であらねばならぬと信ずる。

政治家をいたずらに非難中傷するばかりでなく、今迄全く政治に関与しなかつた人達も国家の為にこれから何をなすべきかを問うべきである。

「親死ぬ、子死ぬ、孫死ぬ」これこそ人間にとって一番幸せな定めですが、現実には、孫や子が親よりも先に死ぬという悲惨な事態が、戦争や交通事故や緊急医療体制不備による患者のたらいまわしその他諸々の公害等で人為的に起きております。

文明の発達と共に自滅していく社会、こういう時にあつてこそ、一体この広い宇宙に於て自分という存在は何であるのか、人間とは、人生の目的、意義とは、といった一見平凡ではあるが、根本的観点から出発して人間の恒久平和を追求していく必要があると私は考える。

政治家こそ、この根底に立つて思索しなければならぬと確信する。

政治を志す者は、ただ単に、栄誉栄達、私利私欲を満たすものではなく、究極絶対の真理を目指す哲学者でもあり、又、行動を共にする時の英雄でもなければならぬかと信ずる。

私は、ご覧の通り金もない、地位もない、ただ一介の無名の男ですが、貧しさを体験した一若者として、国民すべてへの愛する国家への献身を誓い、「どんな人が政治をしても国は変らない」という風潮を吹きとばしてやろうとの強い決意と実行を私の生命と心してまいります。

経歴

昭和十九年五月出生、三十二才
小学五年、父と死別(六人兄弟の次男)
当仁、南当仁小、当仁、百道、城西、它岐勝木、東京七、十、中と動き目を転々とし高校、大学と並々ならぬ苦学を重ね中央大学。
学生時代より政治家を志し、ホットドッグ・タンメン店、喫茶店等を経営。
現建設業代表。



衆議院議員候補者
日本社会党公認

かわの正

(62才)

福祉ひとすじ 二十年

数少ない社会保障の先駆者

私の歩み

政治家としての実績

本籍地 福岡県粕屋郡藤原町尾仲一三九番地
現住所 右に同じ
本正三年一月一日生

昭和六年 福岡中学(現福岡高校)

昭和十年 九州医専(現久留米大学)

昭和十八年 九州帝大医学専門学校助教授

昭和二十年 医学博士、野野病院を設立

昭和二十二年 福岡県議会議員に当選

昭和三十年 衆議院議員に当選(五期)

福祉無視の政治をなくし、「生活できる年金」を実現しよう

私は昭和三十年、皆様のお力添えて国会におくつていただき、この二十年、「福祉優先の政治」に努力して参りました。とくに私が最も力をつけたのは、老人医療の無料化でした。さらには「生活できる年金」実現のため、奮闘する決意でありました。私は、次の重点政策をめぐり、今度の衆議院選挙に力を注ぎます。

- 私の決意
- 一、福祉切り下げを許さず、国民生活の最低の保障の確立。
 - 一、経済の民主化、インフレ、不況の克服、強力な物価安定政策の推進。
 - 一、総合的、中小企業政策と農林漁業の再建と振興。
 - 一、学歴社会による受験地獄と差別教育をなくし、教育の民主化、文化の発展。
 - 一、平和中立の外交を推進。

昭和51年12月5日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
農政連推薦

井原忠良

(44才)

私は一人の青年として、二十年間公の中で國の政治をみつめてきた。政治は國民のためのもの、そして本當に國に押しつけて、誠實に生きる人たちのためのものでなければならぬ事を思ひ、披けてきた。政治は今、その原動力に立ちかえらなければならぬ。私は、清潔と愛と勇氣を自らの賢いとし、これからの日本を、備へ申すのあり、誇りある國にするために、休むあたりで國政にぶつかってゆく。

三つの目標(政治家としての)

- 1 ライフサイクルに比した生き甲斐と手のぬくもりに満ちたコミュニティをつくる。
- 2 住む人みなが「ふるさと」を感じ誇りに思う福岡大都市圏をつくる。
- 3 自然と伝統を大切に安定した豊かさをもった日本をつくる。

目標を達成するための八つの政策

(一) 明日をにやう子供のために、

- (1) 保育所への完全入所。
- (2) 高校増設と受験競争解消。
- (3) 私学助成の強化。
- (4) 強力な非行防止対策。

(二) 若者のために、

- (1) ニューフロンティアのための産業の推進。
- (2) 週休二日制の推進。
- (3) 余暇対策の充実。
- (4) キャンプの海外交流の助成。

(三) お年寄りの生き甲斐の充実のために、

- (1) 各種年金制度の充実。
- (2) 中高年者の就職促進。
- (3) 一人暮らしの老人対策の充実。
- (4) 定年制の大幅延長の促進。

等を実施することにより安定した「やすらぎ」があり、お年寄りを大切にする社会をつくる。

(四) 手のぬくもりのあるコミュニティづくりのため

- (1) スポーツ、同好活動の振興。
- (2) コミュニティセンターづくりの促進。

交通手段など都市環境の強力な非行対策を積極的に推進し笑顔と暖かみのある社会をつくる。

(五) 安定した豊かさをもつ農林水産業のために、

- (1) 農業者が農業によって生活が安定出来る農政の推進。
- (2) とる漁業からつくる漁業への転換を促進し水産資源を活用する施策。

等を実施し、若い後継者たちが、誇り生き甲斐をもてる、魅力ある農漁業をつくることに全力を傾注する。

(六) 健全な中小企業づくりのために、

- (1) 融資制度の拡充。
- (2) 技術指導体制の強化。
- (3) 特に軍需企業対策の充実。

を実施することによりみかかてない日本経済の振興をはかる。

(七) 物価とくらしの安定のために、

- (1) 流通機構の整備。
- (2) 公正な取引の推進。
- (3) 誰でもマイホームが持てる地価対策。

等を実施することにより、豊かで安心、台所づくりと地価の安定を実現する。

(八) 魅力ある福岡大都市圏づくりのために、

財政上の特別措置を中心とした地方中核都市整備促進法をつくり、福岡市と周辺各市町村の過密を防止し、生活環境整備を着実に推進させる。

私の略歴

昭和六年十一月五日、糸島郡志摩町生れ、県立糸島高校、早稲田大学政治経済学部政治科卒業、直ちに衆議院議員中村寅太先生の国会秘書に就任、昭和四十七年七月選挙大任秘書、昭和四十六年七月国務大臣秘書、昭和五十年一月自由民主党福岡県連秘書及び糸島郡支部長に就任、昭和五十二年一月衆議院議長より回会在籍二十年の表彰を受く。

投票日 12月5日

不在者投票は…投票日にやむを得ない用務で投票所に行けない人や病氣・出産などのため歩けない人は前もって「不在者投票」をすることができます。
(くわしくは、近くの選挙管理委員会へおたずねください。)

福岡県選挙管理委員会

昭和51年12月5日執行

衆議院議員総選挙

(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
自由民主党公認

森 田 欽 二

(58才)

私の決意

私は衆議院議員に在職二十五年有る、衆議院議員長二期にわたる経験と実績をもとに、覚悟と誠実を旨とした政治姿勢をもって、みんなが幸せになれる郷土と国家の建設のために、果敢と邁進し、私の生命捧げて働く覚悟です。

私の基本的考え方

現在の国民は、急速に変化する国際並びに社会情勢に対し、大きな不安感をもっています。

政治の課題は、政治が国民の進むべき明確な方向づけを与え、具体的な見通しを国民の前に示し、各人が存分に自己の力を発揮し、生きがいのある社会建設に寄与すると共に、社会福祉の充実と相まって、全国民が楽しく生活の出来る「心豊かに安定した社会」の実現を期すべしと想っています。

私は邁進します

一 階級革命思想の教祖が行う偏向教育を排拒し、教師としての経験と十二分に生かし知育と体育両面を備えた、心豊かな教育の実現を促進します

一 違法なストに参加し、生徒児童被害に、国民に迷惑をかける官公労の姿勢を正し、国民のための公務員としての自覚の啓発をすすめます。

一 農林水産業者が、得業共に、安心して働かれるよう、国内外の長期的見通しと展望の上になつた確固たる政策の確立が必須の前提であります。

これを基本として、主要食糧の自給態勢の確立をはかり、米価の適正化、買入れ制限の解消、畜産物の価格安定、野菜、果実栽培の経営安定、また、沿岸漁業の振興と漁業経営安定と林業の振興をはかり、現職団体役員としての体験を生かし、後継者が安心して働かれる政策の策定と実行に全力をあげます。

一 国際競争の激化、国内における産業再編成による圧迫に対し、適正利潤の配分を目標とし、中小企

業の近代化、高度化と生産性向上のための施策の策定と推進を図ります。

一 豊かで住みよい生活ができるよう自然と文化的伝統の調和した、健康で文化的な生活環境づくりに努力します。

一 長期的展望にたつた緑豊かな森林の造成と共に水質の向上と安定供給に努力し、生活道路の整備、交通難解消のための大塚輸送機関の整備促進を図ります。

一 福祉社会の実現を重要課題の一つとしてとらえ、老人、心身障害児者、母子世帯などに、行き届いた社会福祉施策を充実すると共に、恩給と戦没者遺族年金の改善充実、その他各種年金制度の改善、がん、その他成人病、難病対策の強化と、医療行政の総合的整備を推進します。

一 国情に応じた自衛力を充実し、自主防衛(日本安全保障)と国際協調で平和の確保を図ります。

一 資源の少ないわが国の将来のため、石炭、石油、原子力その他について、エネルギー対策を推進します。

大正六年、甘木市生まれ、朝倉中学、福岡師範学校卒、二十九才にて福岡県議会議員当選、連続七期、県議会議長理事、土木常任委員長等歴任、自由民主党福岡県連幹事長、福岡県議会議長二期

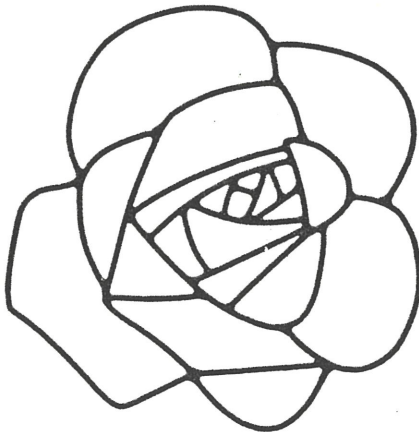
県畜産会会長、県酪農協同組合連合会会長、県森林土木協会会長、県家畜産物衛生指導協会会長、県別府農業協同組合組合長、県筑前土地改良区理事、県酪農協同組合中央会理事、福岡商工会議所会長、県酪農協同組合中央会理事、福岡商工会議所食料水産部会常任委員、甘木商工会議所相談役

その他

監修資歴、日本金色有功章、日清功績章受章

福岡六段教士

政治のよいみるに自覚の一票



投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

(6)

衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査

投票日 12月5日

投票用紙は、衆議院議員総選挙…白色の紙に **黒刷り**、
最高裁判所裁判官国民審査…白色の紙に **赤刷り** です。

投票できる時間は…午前7時から午後6時までです。

不在者投票は…投票日にやむを得ない用務で投票所に行けない人や病気・出産などのため歩けない人は前もって **不在者投票** をすることができます。

(くわしくは、近くの選挙管理委員会へおたずねください。)

一票の自覚に



みのもろよい政治

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



私の公約

(一) 政治倫理を確立し党の体質を改革、金のかかり過ぎる選挙の改革を断行します。

(二) 高度福祉社会の建設を実現、インフレのない生活の充実を図ります。

(三) 教育の政治的中立性を守り徳育・知育・体育の調和のとれた教育を推進します。

(四) 平和と独立を守るため、平和協力外交と日米安保体制の維持推進に努力します。

(五) 農林・漁業・中小企業の近代化育成と産地振興政策を確立、明るい郷土づくりを推進します。

衆議院議員候補者(福岡二区)

自由民主党公認

三原朝雄 67才

清濁と渾濁、これが私の政治信条です。三原は政治の道歩み続けて三十年、若き日の河を津波に突きとめ、これを国政復興の原動力として行動して来ました。今日ほど内政・外交に直面して直面していることはありません。私は郷土の皆さんの温かい御支援を受け、この難局に勇気・決断・実行力を持って向かう所存です。

北九州及び政務地区の振興する上問題、日本に山積する北問題の解決として従来の原動力として行動して来ました。今日ほど内政・外交に直面して直面していることはありません。私は郷土の皆さんの温かい御支援を受け、この難局に勇気・決断・実行力を持って向かう所存です。

北九州及び政務地区の振興する上問題、日本に山積する北問題の解決として従来の原動力として行動して来ました。今日ほど内政・外交に直面して直面していることはありません。私は郷土の皆さんの温かい御支援を受け、この難局に勇気・決断・実行力を持って向かう所存です。



衆議院議員候補者
日本労働党公認
上村正敏 (28才)

現在、わが国会はすべてでゆきづまり、わが民族と人民はかつてない苦悶と災禍に直面して今日。この選挙はこのような重大な情勢のなかでたたかわれている。しかし、三木の自民党から野党の上よせに、ロッキード選挙と併し、われわれが提出したと清くくらの争点にしているのだ。これは許しがたいベテランである。ロッキード疑獄もわが国の戦後政治体制、党国と腐敗、反動政治の結果にすぎない。

この戦後体制を根本的に転換するの、それとも手直しするにせよ、人民をこの苦悶のなかにひきまきとめようとするのか。いまこの二つの道の選択が問われている。わが党は前者を主張し、自民党から共産党にいたる議院内諸党は共選して後者を主張する。

戦後この方、共産党をはじめとする野党の諸君はどうであったか。労働者、人民の諸困難は解決されたか。明日はなにか。わが党は議院にたまたま的転換を要する道であると確信する。

いま全国で労働者、農民をはじめとする人民は直接行動で要求の決着をはかり、たちあがりつつある。わが党はこれらすべての反政府闘争を断固として支持する。議会や法律にたまたま力だたかいははばからうが、人民の人民の解放を表現する真に巨大な力がある。この力が、日見とる野党を破って團結したとき、人民は新しい社会を築くことができる。

日本をたもつ選挙を、この道を歩く。全国五選挙区に於けるわが党の選挙を、わが党は人民のたまたかへの責任に事し、国会の壇上でも離を離したたかへの支持はもつと強い人民の怒りの表現であるにちがいない。わが候補者への断固たる支持を訴える。

わが党は次の課題の実現のため全人民とともにたたかろう。

一、反動勢力の排除、反動政治の根本的転換、革命的臨時政府の樹立をめざし左翼連合の結成。

二、国の完全な独立と国際関係について

一、日米同盟、明正の日中平和条約即時締結。

二、朝鮮人民の自主的、平和的、断固支持、米軍の即時撤退。

三、東欧社会帝国主義の干渉、圧迫反対、北方領土の即時返還。

四、米軍の撤退、基地撤去、安保条約廃棄、対米追従の外交政策を転換し、第三世界の連帯、反霸権、友好、協力の国際関係の樹立。

五、軍国主義と政治反動に反対し、人民の政治的自由と民主主義を守るために

一、労働運動への干渉、弾圧反対、警察・検察・裁判所のアウソク化反対、すべての政治反動と国家機構のアウソク化反対。

二、自衛隊の拡大増強、核武装化、海外派兵と防衛費の増大反対。

三、軍国主義と営業・特権利のため

一、人民の争いについて

一、大船賃上げ、スト協賛、首切り、合理化粉砕、失業反対、職上り反対。

二、すべての土地をあげ反対、「生産調整」反対、消費増税反対、食糧自給政策の確立反対。

三、公共料金、特権増上上げ反対、インフレ反対、重視反対。

四、被差別部落民に対する一切の差別と抑圧反対。

五、職人、商店主、零業者、中小企業に対する一切の圧迫と取巻反対。

六、知識・文化人、若者に対する言論、思想などの退屈の軍国主義的反対、民族的、民主的文化の育成。

七、労働者、農林、漁業、その他人民の、生活と諸権利のための闘争断固支持。

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



日本共産党公認

田代文久

(76才)

私の国会活動

私は四年前、共産党議員としてはじめて衆議院石炭対策特別委員長に選任されました。その初仕事として委員会での追放を決定し、これまで高級料亭で行われてきた委員長招待会をとりやめに行きました。これは大きな反響をよび、今では赤坂などの委員長招待会はほとんど姿を消しました。私がこのような前風をまきおこすことができたのも、共産党国会議員が皆さんの御支持で十四名から四十名に増進し、有力な政治勢力に成長したからであります。

その後、私は鉱害復旧、炭住改修、失対事業の存続、小竹町地産地消、炭産復興への最新型自動車導入など炭産復興のため努力してきました。また、中小企業への緊急融資や、新日鉄の肺ガンを職業病としてみとめさせ健康管理手帳を発行させるなど、住みよい北九州の都市づくりのために奮闘してきました。この機会に、これまでの皆さんのご支持に厚くお礼を申し上げます。

私の決意

ロッキード事件は戦後最大の疑獄事件として、自民党の金権ワイロ政治のみならず、白目のもとにさらけ出されました。危機政治は野党の一部にもひろがっており、これを一掃することは、高物価、重税、失業、倒産などを国民生活の危機を打開するために、緊急の課題となっております。

このたび私は、かねて「戦前の自民党三悪政治を打破し、わが国危機を打開する」ために、五たび立候補いたしました。日本共産党は財界から一円の献金もつけない、ただ一つの清廉な政党です。だからこそ大企業は腐敗をおさえて国民本位の政治を実現できる共産の革新政党であります。また、革新勢力を結集して国の政治を民主的に転換するために真

剣に努力している点でも唯一の党であります。日本共産党と共に、日本を救うため、皆さんの力強いご支援を心からお願いいたします。

私の公約

- 一、ロッキード疑獄をうんだ金権政治の根を、清濁、革新の政治をさす。
- 一、大企業中心の政治をさす。
- 一、炭産復興、社会保障の確立などを表現し、労働者、農漁民、中小業者の暮らしを守る。
- 一、大企業本位の開発を規制し、住民本位の経済発展をはかり、北九州を公害のない住みよい産業都市にする。
- 一、炭産復興、炭住改修、無公害企業の誘致、石炭産の近代的復興で、豊かな炭産を再建する。
- 一、部落差別をなくし、公正で民主的な同和行政を確立する。
- 一、憲法と教育基本法にもとづく民主教育を実現し、高校全員入学、父母負担の軽減をはかる。
- 一、小選挙区制、憲法改悪に反対し、国民の自由を民主主義をまもる。
- 一、革新統一戦線の結成で、民主連合政府を樹立し、安保条約を廃棄して、平和、中立、繁栄の日本をつくる。

私の略歴

直方市に生れ、東武中学、五高をへて、京都大学経済学部入学、昭和四年卒業とともに日本共産党に入党、侵略戦争反対、自由と民主主義のための奮闘、戦後、福岡県委員、九州地方協議会議長を歴任、現在、党中央委員、昭和二十四年衆議院議員に当選、四十一年再選後連続当選、四期、四十七年衆議院石炭対策特別委員長に就任、現在に至る。



衆議院議員候補者
日本社会党公認

松本七郎

(65才)

立候補の決意

と、おねがい

1 つの生活の不安

物価高は、とどまるところを知らず、生活をますますしくさせています。公害は、日本列島をおおい、不安はつのるばかりです。不況で、中小企業は、つぎつぎに倒産しています。企業の人べらし合理化は、いまや実質二〇〇万人の失業者におよび、生活の不安を増大させています。

これらは、あきらかに三〇年の長い期間、政治をうけてきた自民党の政治に原因があります。

2 国民をわすれた政治

自民党政府は、大企業とのリベールとワイロにうつつをぬかし、国民の生活をわすれて、大企業のもうけ

をふやすことばかりおこなってききました。さいきんは、派びつの政権欲にからむあそびに終始していることは国民をバカにしたものではげしいきどおりをもちます。

3 国政改革の先頭に

自民党政治は、次代をになう青年に、まったく未来に希望のもてない社会としてすすんでいます。松本七郎は、いまこそ、自分のすべての力をだして国政の改革にあたるべきと考え立候補しました。

大資本をまもるすべてのものたたかい、「あなたの声をみらせる政治の実現」をめざして、一身をなげうちます。

政治生命をとじて立候補しました松本七郎に、みなさんの清き一票をたまわりますようつよくおねがいます。

衆議院議員総選挙

(福岡県第二区)

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
自由民主党公認

まつぶじ 淳

(50才)

歩んで来た道

昭和十七年、東京市立南中学校四年生、同年に海軍兵学校(七十期)へ入校。昭和二十五年、東京大学法学部政治学科を卒業。

同年、大蔵省へ入省。本省各局勤務の後、三十二年には秋田県産米代官兼局長となる。昭和三十三年外務省に出向し在留邦人本國課長。昭和四十一年水資源開発公団管理員兼全課長。四十五年、防衛庁管理員兼課長となり、その後大蔵省大臣官務事務官となる。昭和四十六年外務省に出向し、在イスラエル日本領事参事官から同公使に就任し、同国に三年半在任する。この間テラアビブ空港乱射事件で同公使を撤調へ、改任される。昭和四十四年、大蔵省で石油危機解決に工作する。昭和五十年、大蔵省大臣官務参事となる。同年九月に退官し、現在に至る。

私の政治信念

今回の総選挙に当たり、私は自民党を改進黨、地元衆議の礎石となる決意で立候補致しました。ロッキード事件と党内抗争は、自民党の古く古い政治体質が残っていることを示していますが、自由と民主主義は守り抜かなければなりません。自由と自民党を改革して古い体質を取り除くことが必要です。ロッキードに開かれのある議員や派閥次元で動く古い政治家を許してはなりません。

米国民が親善の大柱様よりも、正真正正無名の新人カスター(五十二)を選んでください。政治改革の第一歩は、政治一掃と「日本を心し心」を取壊すことであると思っております。これからの政治の目標は、無差別の民意を聴き、経済発展の陣に乗り遅れた社会的不正を本来の姿に正しく取り戻すこと、派閥本位から政策本位へ、金のかかる政治から庶民の政治へ、政治の流れを変えるよう私は真摯に取り組んでいます。

派閥から中小企業を開放し、北九州の不況から下請工場や中小企業を守ることは、地域の問題であるばかりでなく、「石炭と鉄」を必要とした国としてのためでもあります。大蔵省在任十五年の経験を活かし、私は国の資金の流入と地域再開発に全力を傾けます。

今こそ、新しい政治の結実が必要です。あなたの深い理解と強いご支援を心からお願いいたします。

私の約束

筑豊経済の浮揚と北九州工業の再開
石炭特別会計を強化し、鉱害復旧と産地地帯の復興のため、力の限り国庫資金を投入します。鉄鋼不況にあえぐ北九州に、知識集約型工業を導入し下請企業の受注を安定させます。

地元の中小企業対策と物価安定
不況下の中小企業を救うため無担保融資を拡充。減税、近代化、事業分野調整を実施します。流通機構の合理化で生活必需品の物価安定を図り、生産者へのシフト寄せは絶対に防ぎます。

日本人の心の取戻しと正しい教育の確立
私利私欲にとらわれている現代の風潮を改め、親やお年寄りを大切に、国を愛する日本人本来の心の取戻しを広く訴えます。知、徳、体の調和のとれた人間形成の教育を推進します。

福祉対策と年金増給医療の充実
お年寄りや、障害者、母子家庭、難病対策に心のこもった対策を実施します。年金、福祉、医療制度を早急に改善します。

農業の価格補償と担い手の確保

米価の引き上げと輸入制限の撤廃、畑作の価格補償対策に努力します。農業後継者育成対策を実施し、農業を魅力あるものにしめます。

国民外交の確立と自主防衛の強化
外交官七年の経験を活かし、筋を通す外交の重要性を国民に訴えます。中東戦争を自衛し、防衛庁にいた経験から近代戦に備える自衛力の質的強化を図ります。



衆議院議員候補者
日本社会党公認

たがや 真稔

(56才)

四年間の総括

私はここ四年間、知事選と浪人中の経験をもとに、大衆との対話のなから政策をつくり、政府と対決し公約実現につとめ充実した国会活動ができました。

- 1 狂乱物価後、党の提案法特別委員長として独断法改正に五一致の修正案をまとめあげた。財政政策については本会議で代表質問。
- 2 年金については厚生社会保険委員長として二度にわたる大幅な給付水準の引き上げさせた。医療福祉の拡充に努力。
- 3 最低賃金法案、雇用失業法野党共同案をとりまとめ提案。身障者及び高齢者の雇用率の強化設定。通勤時の労災適用、新日鉄のコークス労働者の肺ガン適用、労働基本権確立に努力。
- 4 産地地の振興、鉱害復旧の促進。緊縮、開拓の存続、地方財政の確立に努力。同和予算の拡大を推進。

今次総選挙の意義

ロッキード汚染は、時の総理が外国企業からワイロをとって大衆選挙にばらまき、保守政権延命にためた権力汚染です。この真の究明は政権の交代にありまします。

わたくしの決意と公約

- 1 福祉政策への転換
「成不成は福祉なし」では政治とはいえず。今日日本の経済力からして、西欧なみの社会保障水準にできない差はありません。
- 2 年金のナショナル・ミニマム(最低保障)を平均賃金の三分の一とし、遺族、障害者、母子年金も上げる年金に引上げます。
- 3 老人医療無料化の後進をくい止め、退職者医療保険、教員医療制度を確立します。ナッシングホーム(看養ホーム)をつくらします。
- 4 定年制を延長し身障者、高齢者の雇用率を活用

わたくしの略歴

石炭百年の備えとをいやすため政治生命をかけて努力します。

男子用型企業の導入、鉱害復旧、緊縮・開拓の存続、地方財政の確立、産地地帯の充実を図り、貝島閉山後の処理につとめます。北九州の公害を一掃し、開拓村増場の撤去をすすめます。

早大法学部卒、日鉄二動部長、炭労法特別委員長、衆議院議員八回当選、東灘院石炭特別委員長、党政策審議委員、知事選出馬。現在、党社会保険委員長をはじめ十余の政策委員長職務。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写取し、そのまゝ印刷したものであります)

選挙公報



衆議院議員候補者 日本社会党公認

ほろよ 治嘉 (64才)

流した汗がむくわれる政治を

こんどこそ

い、私は、今後の日本の進路をめぐり、重大な政治選択が迫られています。それは、大企業優先の権威政治を断つか、それとも、国民自身の手で、流した汗がむくわれる政治をめざし政治革新の道を行くか、つとむことの歴史的な選択です。

国民連合政府樹立にむけて

私の抱負と決意

三木首相は、ロッキード汚職事件を制する側面のみならず、累年ルートの放散、思い余の使徒、灰色高官の氏名などにはフタを被し、政、官、財の複点PXL、CIAなど最深刻の重要構成員に手をふれまかせ、民主政治の第一要件はガラス張りだけに、いかなる困難をもちろこえ徹底的に究明し、フアラシヨの根を断ち切らねばなりません。

私の公約

- 1、ロッキード汚職を徹底的に究明します。金権腐敗の構造にメスを入れ、大企業政治の専横を断つ。
2、国民生活を守り、インフレ・不況を克服します。
3、大企業優先の権威政治の断絶、福祉増進、国民生活の向上を図ります。
4、国民生活を向上させるため、大企業を断つ。
5、国民生活を向上させるため、大企業を断つ。
6、国民生活を向上させるため、大企業を断つ。



衆議院議員候補者 民社党公認

いな とみ 富稜人 (74才)

国民のための政治を

とりもとそう

前回選挙の公報で、私は、「人間優先の政治をとりもとそう」と訴えました。人間優先の政治を、権威政治は崩壊し、高度成長経済政策は挫折し、自民党は、大きな反省点に立たされています。

健全な国家の建設を

「健全なる国家は、健全なる農村によって支えられる。健全なる農村とは、農民が希望をもって農業経営にあたり得る農村に在ることである。これは五十年來私が言いつづけてきた主張であります。農業を忘れた工業中心国家の衰退はイギリスを始め世界の例を見ても明らかです。世界的な食糧危機が近いことが叫ばれているいま、食糧自給体制確立のための農業振興に力を入れ、健全なる国家の建設をつくるべきであります。」

主な政綱

- 1 景気浮揚、雇用拡大の予算を編成し、公共事業を強力に推進する。
2 高めた一兆円減税を行う。
3 完全雇用の確保をはかり、特に高齢者の雇用拡大、完全年制減税を推進する。
4 雇用調整基金を設け、不況から雇用を守り、中小企業産業分野の確保法を制定し、大企業への雇用流出を抑制する。
5 農林漁業の当面する課題は、国際的食糧不足傾向に対応して、水産物を含む食糧の自給体制を確立し、森林資源をかん養し、国土の保全をはかることと、優秀な後継者を育成確保することです。
1 農地基本法を制定し、自給目標の設定、優良農地の特定、漁場の確保をはかる。
2 地域の特性を生かした生産分担の確立、価格の保障をはかる。
3 優秀な後継者を確保するため、いまの農業教育研修体制を改め、農林業に従事することの魅力を再認識し、経営に対する希望と魅力を持たせ、かつ生活を感じるような新しい教育研修体制を確立する。
4 都市に比べて遠立っている農山村の生活圏整備のための都市と連携する生活圏の提点づくりを推進する。

(1) (この選挙公報は、候補者から提出された政綱を要約してそのよき部分のみを掲載したものであります)

衆議院議員総選挙 (福岡県第三区)

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者 自由民主党公認

山崎平八郎

(64才)

うそやごまかしは許さない

ひとりとりの幸福を考え、村や町や市の発展を考え、そして、日本人みんなの幸福を支える。その実現のために、私心を捨て、身を投ずる。これが私の政治信念です。

清潔・公平で自由を守り、信頼と希望と愛情に満ちた政治の確立に全力を傾けます。

地元の皆さんとの十の約束

- 一、物価の安定と失業のない経済政策に最善を尽くします。
二、心の豊かなくくりをめざし、詰め込み教育を廃し、徳・智・体と調和のとれた教育制度を推進します。
三、新時代を生きぬく中小企業に専業分野調整制度をとり入れて生活圏を護ります。
四、誇りと自信のもてる農業・林業・漁業を育てるため、新農政を策出し漁業を含む食糧自給率の向上に努めます。
五、お年寄や恵まれない人々に公正な高福祉社会を建設します。
六、青年と話し合い、魅力と愛着のもてる郷土社会を育てます。
七、婦人の地位向上と社会参加を促進します。
八、台風や災害から資産を守り住みよき豊かな郷土を造ります。
九、所得の低い人の税金を軽減します。
十、私は郷土を国政を結びパイプになることに生涯を捧げ、この運をつめます。

推せん者

- 内閣府 三木武夫
衆議院議員 松野 恒三
衆議院議員 吉野 龍生
大川町長 立野 治市
大川町長 古賀 龍夫
大川町長 中村 花子

推せん団体

- 福岡県農林漁業連合会
福岡県漁業連合会
福岡県林業連合会
福岡県畜産連合会
福岡県酪農連合会
福岡県水産連合会
福岡県畜産振興会
福岡県酪農振興会
福岡県水産振興会
福岡県畜産青年会
福岡県酪農青年会
福岡県水産青年会
福岡県畜産婦人会
福岡県酪農婦人会
福岡県水産婦人会
福岡県畜産青年婦人会
福岡県酪農青年婦人会
福岡県水産青年婦人会



衆議院議員候補者 日本共産党公認

松石秀介

(48才)

ごあいさつ

私は医師として十六年間、地域医療にとりくみ、その中で生命の尊厳を学ぶとともに大企業の本質と人命軽視の治い民主政治に憤りを感して来ました。
ロックアップ政策の底にある金権、腐敗の政治は住民のいのちと健康をむしばみ、郷土の経済を荒廃させ、住居のくらしを苦しめてきました。いまこそ、三区の政治の世直しを強くもたらされて、異常な事故や新人が先取ない政治、社会保障と福祉に生まれ自由と民主主義の花開く政治の実現をめざして力の限りがんばります。

金権・腐敗をなくし、自由と民主主義の花開く政治を

いままで三区は大団、大もの選挙区といわれてきましたが、大企業の本格でこざされる自民党やそれに追随する政党によって石炭産業は衰退し、豊かな農漁業は危機にみまわれ、住民生活は困難におちいりました。私は大企業と政変、高級官僚の汚名をたら、清潔な民主政治に国政を転換します。すべての革新努力による革新政権一戦線をつくり、自由と民主主義の花開く民主主義政府を樹立します。

医療、年金など豊かな福祉と社会保障の充実を

私は六万人の診療、数千人の老人健診、老人、乳幼児医療の無料化、公害、原爆症、障害者問題ととりくんで来ました。私は大企業の本質、「くすりだけの医療」をなくし、技術と心がかつ令ア医療の確立、救急、夜間、休日診療体制と自治体の責任を明確に、いつでも、どこでも、誰でも安心してかかる医療制度をめざします。また、国民年金を月額八万円、福祉年金を三万円に引上げます。失業者の打切りに反対し、各種事業の活用をはかります。身障者、生活困窮者対策を強めます。

石炭産業の復興をすすめる、商工業者の復興をすすめる

私は地元の名を国会に反映させ、新石炭政策確立の国会決議、中小企業向け百兆円融資の拡大、融資の拡充などとりくんで来ました。私は大牟田、有明地域の十億トンの豊かな埋蔵をもつ石炭を活用し、石炭産業の民主的復興と関連産業の発展をはかりました。また、大スーパードなどの進出の規制、大企業の操縦つり上げの抑制、小売マージンの引上げ、仕事の拡大など中小企業の経営をまもり、郷土産業、特産地の育成をはかりました。

農業、漁業の発展をはかり、後継者に夢と希望を

私は大企業本位の筑後川開発に反対し、住民に役立つ民主的、総合的開発、耳納川、筑後川下流域の灌漑、圃場整備事業の民主的再検討と農民負担の軽減、久部川流域の竹の子草除去、有明海沿岸漁業の振興などとりくんで来ました。私はこれらをするるとともに、農、水産物の産地保障の確立など農、漁業を国の基幹産業として発展させます。

どの子にもゆたかな教育を

私は地元の名を国会に反映させ、高専増設や学費保障の国庫補助の新政の実現にとりくんで来ました。私はどの子にもゆたかな学力、体力、市民意識をだてる教育をすすめます。高校希望者入学の実現、奨学助成をすすめます。高校文化を発展させ、スポーツ基本法を制定するなど、郷土のスポーツを確立します。

私の経歴

昭和三年、朝連教師松石沙の五男に生る。旧制八中卒(八女高校)から久留米市立医学部を出て、木村内科に入局。現在、大牟田市中央の山崎診療所、医療法人 親仁会(米内山崎院、中友病院、中央診療所)理事長。福岡県民主医療関係者会副会長、日本共産党福岡県全福岡県支部委員。

衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査

投票日 12月5日

投票用紙は、衆議院議員総選挙…白色の紙に **黒刷り**、
最高裁判所裁判官国民審査…白色の紙に **赤刷り** です。

投票できる時間は…午前7時から午後6時までです。

不在者投票は…投票日にやむを得ない用務で投票所に行け
ない人や病気・出産などのため歩けない人は前
もって **不在者投票** をすることができます。

(くわしくは、近くの選挙管理委員会へおた
ずねください。)

一票の自覚に



みのあるよい政治

昭和51年12月5日執行

衆議院議員総選挙

(福岡県第四区)

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



田中六助

(53才)

自民党公認・衆議院大蔵委員長

みなさまと共に十三年

初めて当選させていただいて以来十三年、美しい国住みよい郷土づくりのため、みなさまの一票に励まされて、ただひたすら歩いてまいりました。長くもまた、短かき月日でした。

そしてその間、沖縄返還、日中国交回復の準備期に外務政務次官、石油ショックによる経済の混乱回復期に大蔵政務次官、公害問題解決に汚濁対策副本部長と、わが国の歴史的な時期に、全力をかたむけることができました。さらに、今また、大蔵委員長として、景気回復のため、財政特別法の成立に努力してきましたのは、常に支援をいたたくみなさまの代表として、本当に働きがいのあることでした。心から礼を申し上げます。

民主主義体制を堅持発展

戦後三十年、わが国は、資源少国から経済大国に発展しました。これは、国民のみなさまが勤勉であること、政局が安定していることが、最も大きな原因です。幅広い右から左までの、健全な国民の声のほとんどもあつた自由民主党が、政治の責任政党として、国民の支持を得、少数党の意見にも耳をかたむけ、心のすみずみにまで、暖かさがゆきわたる政治で、国の運営にあたつたために、ほかありません。ときに意見をまとめるに、時間を要することがあつても、その原因をいえずらに他にのみ求めず、自らを反省し、清潔な政府を希求しつづける政党であればこそ、民主主義の発展があるのです。自らを省みるにきびく、他を責めるに履かき銘記して、民主主義を堅持し、さらにわが国を飛躍させたいと念願しております。

美しい国住みよい郷土を

一 清潔な政治で安定成長をはかり、物価を安定させます。
前国会で、財政特別法を成立させ、三兆七千五百億円の赤字国債を発行できるようにいた

しましたが、公共事業、住宅建設を軸として、まず、当面の景気回復をはかります。それと併行して、経済成長をヒトケタ白し、物価を安定させます。景気の浮揚と物価の安定とは相反する面もあり、困難も予想されますが、私は英知を尽して解決にあたります。

二 平和外交を推進します。
先進国をはじめ、アジア、中近東諸国と友好を保ち、中国、ソ連と、平和条約締結の条件を一つ一つつくりあげます。
北九州から京葉を結ぶ広域経済圏を築くに導き、県境行政能力を入れます。

三 北九州から京葉を結ぶ広域経済圏を築くに導き、県境行政能力を入れます。
(一)道路建設を促進 (二)獲る漁業から育てる漁業へ (三)漁業経営安定資金などを充実、新門司、苅田、宇ノ島港や漁港整備 (四)新北九州空港の調査を急ぎます。
産炭地を復興します。

四 (一)無公害工場の誘致 (二)鉱害を復旧 (三)住宅問題を解決 (四)地方財政の赤字解消にあたります。
食糧の自給力を高めるよう基盤整備事業を進め、冷害に適切な措置をします。

五 冷害に適切な措置をします。
子どもたちが心豊かになるよう、つめ込み主義教育を排し、学校制度環境を整備し、公立の幼稚園、保育園の育成につとめます。

六 子どもたちが心豊かになるよう、つめ込み主義教育を排し、学校制度環境を整備し、公立の幼稚園、保育園の育成につとめます。
七 お年寄りや身障者、交通通児など恵まれない人たちに保健施設、国立コロニーの建設を促進、年金、恩給、医療制度を改善します。

八 郷土の伝統芸能、工芸を守ります。
初心忘れず、名利を追わず、国とふるさとのしあわせのため、やるべきことを勇気をもっておこなう。福岡四区のみなさまの代表とならうことを誇りに思い、みなさまが誇りに思う代表になりたいと念願しております。

わたくしの略歴

田川郡出身。早大経済学部卒、日経新聞ロンドン支局長、池田総理秘書、外務・大蔵政務次官、党石炭対策委員長、兎米擁護進退代表幹事、現大蔵委員長。

投票日 12月5日

不在者投票は…投票日にやむを得ない用務で投票所に行けない人や病気・出産などのため歩けない人は前もって「不在者投票」をすることができます。
(くわしくは、近くの選挙管理委員会へおたずねください。)

福岡県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写し取ってそのまま印刷したものであります)

衆議院議員総選挙 (福岡県第四区)

選挙公報

投票日 12月5日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者 公明党 公認

かじ清

(48才)

北九州、田川、京築の発展のために

みなさまの真心からの支援を蒙り、北九州市議会議員を三輝十年間にわたりつとめさせて頂いてまいりましたが、このたび公明党の公認をうけ衆議院選に立候補することになりました。

国民福祉中期計画について

戦後三十年間わたり大企業優先の自民党政権が続き、この間、日本は、極度の後進国と酷評され、国民は風化にさらされてまいりました。

計画の特長

この計画は四つの柱でできていますが、第一の柱では、国民が保護される権利を法定し、年令、教育、職業、健康、生活の六つにわたる、こども、若者、高齢者、障害者、生活困窮者の生活水準を保障されるという福祉システム（最低保障の生活水準）を法定しました。

私の略歴

北九州市小倉生まれ、県立小倉中学校（現小倉高校）、明海門学舎（現五王学舎）、運輸省九州運輸局勤務を経て、北九州市議会議員（三選）に、現在、党中委員会



衆議院議員候補者 自由民主党 公認

くら内修治

(58才)

ありがたい郷土

故郷の一市民として四十年間、街角で、市場で、田んぼのあぜ道で、私はつねに、皆さんの暖かい眼差しをえられてまいりました。

わが国の現状をみつめて

日本は今、戦後最も危険な局面に立っています。第一に、わが国をめぐる国際環境は、アメリカにおけるカリー大民主党政権の誕生、中国における毛沢東の失脚と中道実務派の兆しがあり、それに応じて、中、ソ両国の接近という世界的動向変化が進行しています。

立ち直るために

政界をおろろろ彩色の草をはらい、経済界の奪うつて取りはたして、明るい希望に満ちた次の時代をつくるためには、

これだけは必ず実行する

- (一) しあわせは家庭の平和と繁栄から生まれます。家庭を中心とした政策を、個人の福祉から家族ぐるみの福祉を立案します。
(二) 受給地をなくし、体、油、知のパランスのとれた教育行政を確立し、私学の保護育成、教育費の負担を軽減します。
(三) 不況克服のため公共事業を速効、国庫十割融資法を急ぎ実施します。
(四) 働く人々の生活保障のため、雇用基金制度を創設し、資金スライドを実施します。
(五) 石炭業者は、住民生活の完全回復を原則に、法金で改善し、優良企業を田舎に誘致します。

略歴

(A) 戦後政連盟、田原市の地産を改善し、清國神社の国民議事を実施します。
(B) 戦後政連盟、田原市の地産を改善し、清國神社の国民議事を実施します。
(C) 戦後政連盟、田原市の地産を改善し、清國神社の国民議事を実施します。
(D) 戦後政連盟、田原市の地産を改善し、清國神社の国民議事を実施します。
(E) 戦後政連盟、田原市の地産を改善し、清國神社の国民議事を実施します。

選挙公報



日本社会党公認

中西せき介

50才

私の経歴

学歴
昭和八年 福岡県立川中學校(現福岡高校)卒業
昭和二十年 三重県立津田南高等学校(現三重大学津田部)卒業
職歴
昭和二年 福岡県立染上職業学校教員
昭和四年 田川市立田川中學校教員
昭和六年 福岡県立田川農林高等學校教員
担当教科 生物・果樹園芸、クラブ活動(バレー)・水泳、野球
現役職
日本社会党中央委員、福岡県支部委員長

私のちかひ

子供たちに
政治は清く 正しく
真面目に働くものが
むくわれるものだ
と
教えられる日本を
みなさんとともにつくりま

私のやくそく

自民党政策、憲政政治をおかす働きのがむくわれ、
ロッキード汚職の徹底糾弾とは、財政・建設官庁、自民
党議員、自民党政府が一体となつた一夥の人々からの
特権的統治をおかすことです。
国益はなれから、どのように税金をあげ、どのよう
に、だれのために金をつかうかをまねることは、
自民党が多額を占めてきたこれまでの国会では、公平
におこなわれたことがありません。
たとへば今年度の予算をみると、予備費だけで、大
企業などへは特別減税措置をつづける一方、勤労者へ
は実質増税です。

つきに支出ですが、防衛費は一兆五千億円支出してい
るのに失業対策費は八〇〇億円、原子力開発に九百四
億計上しているのに大企業などにはなつた八億円
予備費費は八〇七億円の、公私立高校修学補助
金は四二億円、電子計算機開発費等に四億五千万円
しているのに、公私立幼稚園修学補助金は僅か二億
といつてあります。

私は、こうした税のとり方、予備の支出の仕方を国民
生活面に切りかえるためになつたといふべきです。
インフレと不安の蔓延は、中小企業、勤労者の生活
によってではなく、大企業や大企業への優遇、
保護ととりやめの方法です。
保護を減らして、教育と地方行政を統廃させ、交通機
能を上げ、公害を、公害と地方行政を統廃させ、交通機
能、公害対策、倒産と失業、農業、漁業、汚染、腐敗な
ど、国民の生活を重大な危機におとし、ついでにものは
地ならぬ自民党政治です。

私は大企業の優遇を規制する独占禁止法改正、税の不
公平修正、予算の不公正修正、大企業減税、防衛費など
の削減、雇用不安の解消など、今日まで自民党政治で切
り捨てられてきた中小企業とそこで働く人々、農漁民、
婦人、子供、老人、新移民、身障者、失業者などに公正
と交換を求めるとする政治にあらためるためにか
かっています。

社会党は、自民党の暴政を闘い、国民生活向上のた
め奮起してきました。社会党は、人間の自由と幸福を
大切にして、差別をせず、貧乏な政治を
つづけています。そのため十大政策を掲げ実現に邁進
国民一人一人が政治の主役となりましょう。

すいせん者

- 野間 芳 正 (作家)
- 小井 隆 正 (元衆議院議員)
- 田中 法 明 (衆議院議員)
- 小堀 明 (衆議院議員)



衆議院議員候補者

尾形 ちえのし

(40才)

いまこそ

汚れなき新人を

「政治とは権力、権力とは金なり」いわ
ゆる田中金脈、ロッキード事件等によつて、
金権政治の体質が与野自民党に限らず、野
党社会党においても暴露されました。
すなわち与野党を問わず、選挙に金がか
かりすぎ、政治家が本職を忘れ、金集めに
四苦八苦し、汚職がすすみ、その結果政治
の腐敗・墮落をまねいてしまったのです。
かような政治の抜本的改革が必要な時に、
自民党は金権政治そのものによつて党内抗
争を引起し、一方野党は互いの競争に終
始し、以然として政権担当能力さえ持ち合
せていません。

私はこの混沌の政局のまっただ中にあつ
て、なすべきことは、全体主義・独裁政治
を排し、自由主義体制を守り抜く立場から
腐敗・墮落し、動脈硬化をきたした政界に
金権政治とは全く関係のない汚れなき新人
を送り込み、その再建を図ることだと考え
ます。

私は若さと情熱とバイタリティーに富ん
だ行動力を持つて政界の大掃除をする覚
悟であります。

私の公約

一、金権政治・腐敗政治を打破し、政治の
抜本的刷新をはかり国民に信頼される政
治を確立する。

二、世界的なインフレや食糧問題、きびし
い不況や、公害問題、こうした激動と混
乱の中から抜け出し国民ひとりひとりが
本心にゆたか安心して暮らせる社会を
実現させる。

- 三、まじめに働く人が正当に報いられる社
会をつくる。
- 四、お年寄り子供、めくまれぬ人達を大
切にする福祉政策を推進する。
- 五、明日をにやう青少年のため正しく豊か
な教育を推進する。
- 六、農林漁業の基盤整備を拡充し振興をは
かる。
- 七、中小企業保護育成のため「中小企業省」
の設置を実現する。
- 八、交通網を拡充整備し、輸送の近代化を
はかる。特に国道10号線の交通マヒ解消
のため全力を投入する。
- 九、低利の金融政策を含みめ細かな住宅
建設計画を実施する。
- 十、門司区・小倉北区の再開発、田川市郡
の再浮上、小倉南区、10号線沿線、市町
村の選択的開発を推進する。

略歴

- 福岡県京都郡田町立南原小学校卒業
- 福岡教育大学附属小倉中学校卒業
- 福岡県立小倉高等学校卒業
- 中央大学法学部法律学科卒業
- 鳩山元総理の提唱する友愛運動に専念
し、大衆と共に歩む民主政治の理念を
学ぶ。
- 全国商工会連合会中央講師
くらしと政治研究所所長

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)